## (書式1-4-19)

## 受遺者以外の第三者に管理を行わせる場合の遺言書

## 遺言書

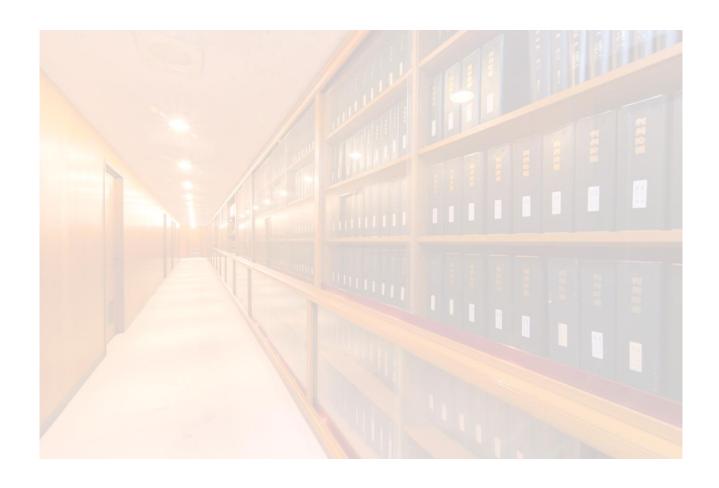
遺言者〇〇〇〇は、次のとおり遺言する。

第 1	条	遺言	者は、	その所有する次の不動産を、甥〇〇〇〇(昭和〇〇年〇〇月
	C		生、住	上所○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号)に遺贈する。
		所	在	○○県○○市○○町○○丁目
		地	番	〇〇番地
		地	目	宅地
		地	積	○○○・○○平方メートル
第 2	条	遺言		甥○○○○が前条の不動産の管理を自ら行うことなく、管理
	を	: O C	000	(住所○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号) に委任する
	2	とを	<b>〈</b> 、本遺	貴贈の負担と定める。
	平成	Ì○C	年〇〇	)月〇〇日
				○○県○○市○○町○○丁目○○番○○号

遺言者 〇 〇 〇 印

## 解説

受遺者は、成年者で行為能力もあるが、遺贈財産を管理させることに不安があるなど特別の事情のある場合に、遺言者が管理者を直接に指定することはできないので、第2条のような負担を付けた遺贈とする遺言が考えられる。



\*遺言書の詳細は、<a href="https://ac-souzoku.jp/inheritance/will/">https://ac-souzoku.jp/inheritance/will/</a> をご覧下さい。 弁護士法人朝日中央綜合法律事務所